

スーパー大区画通信



スーパー大区画導入実証事業の最新情報をお知らせします！

Vol.7(2017. 8)

農政部農地整備課
下都賀農業振興事務所

平成29年度 第1回スーパー大区画導入実証検討会を開催しました

平成29年8月9日（水）、本年度第1回目となるスーパー大区画導入実証検討会（以下、検討会）を下野市の南河内公民館会議室で開催しました。

事務局より、平成28年度の事業結果※、平成29年度の調査内容及び取組経過として、低コスト化技術（乾田直播、密苗移植やロボットトラクターによる代掻き等）の実施状況等について報告がありました。

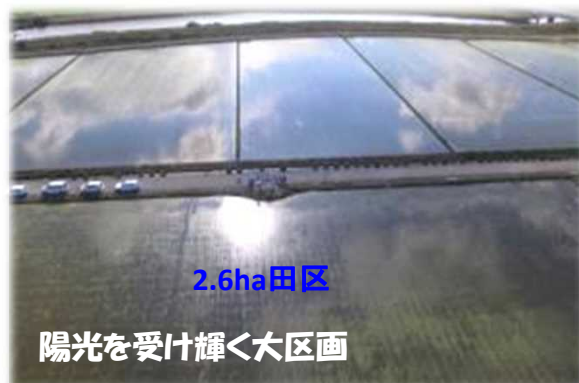
また、大区画化の効果が発揮されるよう用水路のパイプライン化等の省力化技術の導入推進に向けた効果検証を今後実施していくことについて報告がありました。



※平成28年度の事業結果については、スーパー大区画通信vol.5をご覧ください！



検討会の様子



2.6ha田区

陽光を受け輝く大区画

今年度の作業計画

田区番号 面積(ha)	作業条件					
	播種量	代掻き方法	移植方法	水管理	品種	
①田区	0.84	約 150g/枚	通常	通常	通常	
②田区	2.55	約 250g/枚	ロボトラ	密苗移植	水管理システム	月の光
③田区	0.41	約 150g/枚	通常	通常	水管理システム	
④田区	0.45	乾田直播		自動止水栓	あさひの夢	

低コスト栽培技術の利活用状況

④田区 乾田直播（4月7日に実施）

昨年の代掻き135分+田植え55分に対して約30分で作業終了（播種・育苗作業の削減も有り）。今後、減水深調査、収量調査を行う。



②田区 ロボットトラクターによる代掻き（5月23日に実施）

昨年の代掻き470分（トラクタ1台）に対して約160分（トラクタ2台（有人+無人））で作業終了。今後、成果や課題の分析・検証を行う。

《通常》 90PS+5.0m/ハロー ⇒ ロボトラ2台
110PS+5.0m/ハロー
90PS+5.0m/ハロー



②田区 密苗移植（5月23日に実施）

昨年の田植えの苗箱約15箱/10aに対して約9箱/10aに削減。トータルで約150箱の苗箱を削減。今後、成果や課題の分析・検証を行う。

《通常の播種量》 約150g/箱 ⇒ 《密苗の播種量》 約250g/箱



②・③田区 ICTを活用した水管理システム（5月16日に設置）

スマートフォンで水口の開閉操作や水位・水温の確認が可能。今後、水管理労力調査を行う。

《取水バルブ設置数》
②田区：2基
③田区：1基



今後の予定

10月中旬：収穫作業、収量・均平調査
10月下旬：第2回検討会